



こどもと休日のおでかけ! どうしてる??



「休日のおでかけアンケート」(期間:2026年7月22日~8月10日、方法:インターネット)に寄せられた
共働きファミリーやパパたちの週末の楽しみ方のヒントをお届け!



予約を活用!



タクシー配車アプリは予約の時点でカードで支払いなので、降りる時に支払い済みなのが便利です。

駐車場予約サービスを使うと満車の心配もなく、駐車場を探す必要がないので時間の節約にもなります。

カーシェアサービスを事前に予約して、新幹線で帰省。ネットで予約や変更、キャンセルが臨機応変に出来て、とても重宝しています。

順番待ち予約がLINEやサイトで出来る飲食店は本当に助かります。

パパ講座

パパたちの子育てを応援するために、地域子育て支援拠点はもちろん、地域ケアプラザや親と子のつどいの広場など地域の身近な施設で父親育児支援講座が開催されています。講師は子育て中の現役パパたちです。からだを使った遊び、絵本の読み聞かせのコツなど、参加する親子同士で楽しみながら交流ができます。

子育て支援拠点のパパ講座はこんな感じ!

西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート



左:「絵本の読み聞かせと手作りおもちゃ」の回。
右:その参加者のパパ発案でできた「育休パパのレガシーノート」がこちら。自分たちの育休体験や未来のパパへのメッセージが満載。



子育て支援拠点のパパ講座開催については各子育て支援拠点で、拠点以外のパパ講座開催場所についてはこちらをご覧ください。



ベビーカーレンタルが便利

駅や商業施設で借りられるベビーカー貸出サービスが便利。例えば、JRを中心に展開する「ベビカル」や、京急電鉄が採用している「ShareBuggy(シェアバギー)」なら、アプリで予約して使いたい時だけレンタルOK。行きは抱っこ紐で移動して、現地でも借りれば移動がグッと楽に。

【ベビカル】



Coupon
クーポン



桜木町駅 北改札内

【ShareBuggy】



Coupon
クーポン



金沢八景駅

*京急沿線の子育て応援ポータルサイト「POKA POKA」
内にはShareBuggyの他、沿線の子育て応援情報満載。



ロコミ



赤ちゃん連れの強い味方

スマホアプリ「ママパパマップ」。授乳室やおむつ替えスペースなど、赤ちゃんと外出した時に欲しい情報がロコミで登録されていて便利です。



おすすめスポット

新横浜駅の新幹線改札内。子どもが大喜びだったので旅行がなくても入場券買って入る価値あり!

神奈川新町駅。京急の車庫のほか、連結切り離しや、車掌さんの交代、電車の洗車機など、レアなシーンがたくさん見れます。少し歩けばJRの線路も。線路の両脇には公園もあって、電車で飽きたら公園で遊べます。



今どきの図書館はすごい! 横浜市の「のけやま子ども図書館おやこフロア」は絵本がいっぱい。大和市の「大和市立図書館」は漫画の品揃えがスゴイ! 同施設(シリウス)内に「屋内こども広場」もあって遊べる!

ちょっと箱根ヘドライブ。水着で遊べる温泉「ユネッサン」はおむつが取れていない子も水遊び用おむつの上に水着着用で利用可能です。

おでかけアンケートにご協力いただいたみなさん

ハマパパ

池田さんのご紹介。
LINEグループ『ゆるくつながる横浜パパの子育て場ハマパパ』のみなさん

スマイル・ポートの パパLINEグループ

西区のパパを中心にパパ講座をきっかけに結成。現在メンバーは76人。

あそびい横浜

パパと遊ぼう! でお馴染みのお出かけ情報サイト。開設12年。足を運んで集めた情報量はピカイチ。

コドモト

おでかけ情報発信のママライターのみなさん。



ベイ★キッズ

LINE登録者のみなさんからたくさん情報いただきました! いつもありがとうございます。



子育てあるある相談室

子育てに悩みはつきもの。実はみんな同じようなことに悩んでる!? 家庭教育教材「ポピー」の教育相談室に寄せられた相談を一緒に考えてみよう。



忙しくてもできる～親子の関わり方4つのポイント

【相談】

忙しくて親子の時間がなかなか取れません

年長の息子がいます。共働きで、帰宅は18時過ぎ。そこから夕飯、お風呂、明日の準備...と毎日あっという間に時間が過ぎます。本当はもっと一緒に遊んであげたいし、ゆっくり話も聞いてあげたい。でも現実には、「早くして」「時間がないよ」が口ぐせのようになっています。さみしい思いをさせているのではと心配です。

幼児期の土台づくりは、長時間いっしょに遊ぶことだけを意味するわけではありません。調査によると、親子の時間の長さより、どんな関わりをしているかが、子どもの心の安定に結びつく傾向が見られています。多忙なご家庭だからこそ意識したい、4つのポイントがあります。①子どもの話を“目を見て”聞くー「今日いちばん楽しかったことは?」の1つだけでもいいです。大切なのは手を止めて、目を見て聞くこと。途中で評価やアドバイスを挟まず、「そうなんだ」と受け止めること。「聞いてもらえた」嬉しさが、子どもの安心感を大きくします。②“途中”に目を向けて、ほめる・はげますー「自分で靴そろえたね」など、結果より過程や姿勢に目を向けるのがコツです。認められていると感じる関わりは、子

どもの自信や意欲を育てます。③笑顔で接するー帰宅時に「ただいま」「おかえり」を笑顔で交わすだけで、家は安心できる場所になります。④“小さな思い出”を積み重ねるーお風呂で10秒数当てゲーム・寝る前のジャンケンなど、“ちょっと楽しい”を毎日に散りばめてみましょう。親子で笑いあった記憶は、短くても心に残ります。

回答: 全家研ポピー教育対話主事

その他、よくあるお悩みへの回答は「ポピー7月あるある相談室」で検索!

